

新城市立千郷小学校



〈1月20日：「授業の跡がわかる板書づくり」のワークショップ〉

1月には愛知教育大学の野田敦敬教授と元豊川市立金屋小学校長の杉浦邦夫氏をお招きし、市内の教員にも公開して研修を行いました。2月には事業の締めくくりとして元新城市立東郷中学校長の小林正躬氏に各教員の授業を観ていただき、日頃の指導を見直しました。資料の選び方、指示・発問の言葉、教師の立ち位置、板書の仕方など、こと細かくご指導を受けました。



〈1月27日：道徳模範授業〉 〈2月：小林氏による授業クリニック〉

1月20日の野田教授の研修はワークショップ型で、「授業の跡がわかる板書づくり」と題して、指導案を基にグループで板書を考え、模造紙にまとめ発表しました。若手教員は、先輩たちの授業づくりの技を感じて刺激を受けました。

1月27日には、杉浦氏の道徳模範授業で学びました。自作資料「森の鸚鵡」の読み聞かせから穏やかに授業が展開されました。ロールプレイで子どもから生の考えを引き出すなど、名人の授業に触れることができました。授業後の授業解説では、ねらいに向けた授業構想と緻密な計画に驚きました。その授業はDVDに編集し、市内の教員に配付して成果を広めることができました。

公開研修会は、回を重ねるごとに他校からの参加者が増え、共に学ぶことができました。この事業のよさを感じています。